



2021/8/6

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
株式会社 Mobility Technologies

あいおいニッセイ同和損保による Mobility Technologies への資本参加および業務提携について -安全・安心なモビリティ社会・街づくりへの貢献を目指して-

MS & AD インシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：金杉 恭三、以下「あいおいニッセイ同和損保」）は、モビリティプラットフォームとしてタクシーを起点とした DX を推進する株式会社 Mobility Technologies（代表取締役社長：中島 宏、以下「MoT」）へ 6 月に投資しました。

また今回の資本参加により両社は、スマートシティを見据えた自動運転などのモビリティサービスやデータサービスによる日本の交通課題解決に向けて、安全・安心な運行を実現する両社の商品・サービスを共同で開発・提供することに合意し、6 月に業務提携契約を締結しました。

1. 背景

少子高齢化や都市化・過疎化による地域交通の課題に加え、コロナ影響による公共交通機関の維持確保が課題とされる今、様々な業界・自治体でオンデマンド交通や自動運転の実用化に向けた取り組み等が加速しています。

あいおいニッセイ同和損保は他社に先駆けてテレマティクス自動車保険の開発に取り組み、運転挙動保険料反映型自動車保険「タフ・つながるクルマの保険」「タフ・見守るクルマの保険プラス」「タフ・見守るクルマの保険プラス S」や、事故時の映像データ・AI 解析等を活用したテレマティクス損害サービスを開発・提供しお客様の安全運転をサポートしております。また自動運転をはじめとした CASE・MaaS への対応や、走行データを活用した危険挙動箇所のマッピングによる交通網の整備・策定支援等により、安全・安心なモビリティ社会・街づくりの実現へ貢献すべく取り組みを進めています。

MoT は、「移動で人を幸せに。」をミッションとしたモビリティ DX カンパニーとして、ダウンロード数 No.1*タクシーアプリ「GO」や日本初のタクシーデリバリー専用アプリ「GO Dine」運営などタクシー DX の他、決済サービス「GO Pay」、交通事故削減を支援する次世代 AI ドラレコサービス「DRIVE CHART」、自動運転社会やスマートシティの実現を見据えたビッグデータ解析を行う R&D 事業などの幅広いサービスを提供しています。

*App Annie 調べ | タクシー配車関連アプリにおける日本国内ダウンロード数(iOS/ Google Play 合算値) 調査期間：2020 年 10 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

2. 資本業務提携の内容

(1) 出資内容

MoT が第三者割当増資により発行する株式をあいおいニッセイ同和損保が取得

(2) 業務提携内容

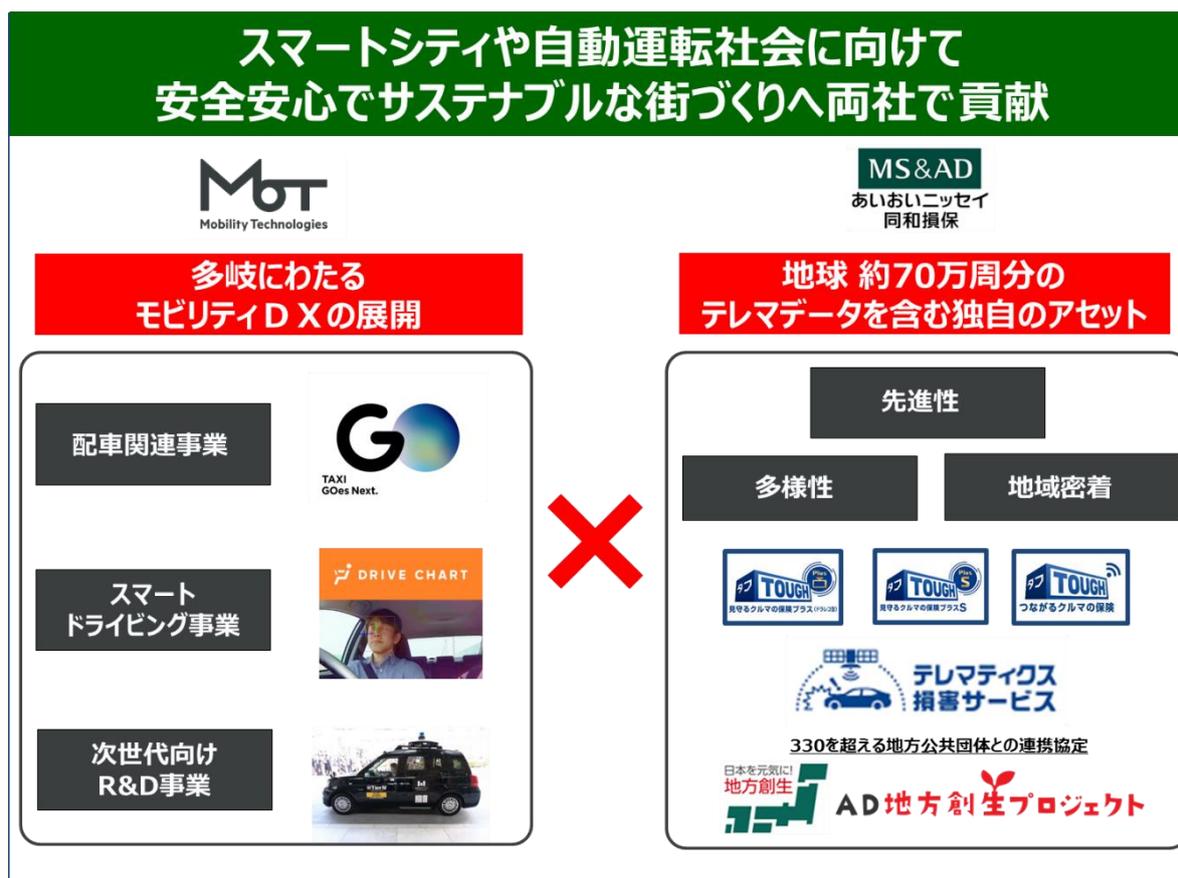
- ・交通事故削減を目的とした保険商品・サービスの共同開発・提供
- ・自動運転タクシーサービスに関連した保険商品・サービスの共同開発・提供
- ・両社データの相互活用

3. 今後の展開

両社は協業を通じて、あいおいニッセイ同和損保が保有する地球約 70 万周分のテレマティクスデータや MoT が進めるタクシー DX の知見など、両社のノウハウや豊富なデータを活用し、事故削減モデルや自動運転タクシーにおけるビジネスエコシステムなど新たなビジネスの共同検討を行い、CSV*発想による保険商品・サービス開発に取り組んでいきます。共にモビリティ DX を推進することで、カーボンニュートラルの実現やスマートシティを見据えた安全・安心で持続可能な街づくりへの貢献を目指していきます。

※：Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

〈協業イメージ図〉



4. 業務提携にあたって

あいおいニッセイ同和損保 常務執行役員 山口 充のコメント

モビリティ DX を推し進める MoT 様との資本・業務提携が決まり大変喜ばしく思っております。

モビリティの DX 化は社会課題の解決を進展させるとともに様々なデータを収集・蓄積します。これらのデータを分析・利活用することにより、モビリティサービスの利用者の皆さまがさらに安心して移動を楽しんでいただける保険商品やサービスの提供に繋げることができると考えています。

当社は MoT 様との協業を通じて、本格化するコネクティッド社会や自動運転社会に対応すべく CASE・MaaS への取り組みを加速していくことに加えて、スマートシティにおける環境負荷を低減し脱炭素化を図るスマート交通などにチャレンジし「安全・安心で快適なモビリティ社会」の実現に貢献して参ります。

MoT 代表取締役社長 中島 宏のコメント

自動車保険領域で長い歴史と実績をお持ちのあいおいニッセイ同和損保様に、MoT の掲げる「移動で人を幸せに。」というミッションを共にする、新たなパートナーとなっていただけたことを大変嬉しく思います。2020 年 4 月の新体制スタート直後から、依然コロナ影響を受けるモビリティ業界ですが、両社の協業により、日本の抱える交通課題解決、引いては社会課題への取り組みが大きく加速することを期待します。

| 参考：安全・安心なモビリティ社会・街づくりの実現に貢献 あいおいニッセイ同和損保について

あいおいニッセイ同和損保は、明るく元気な社員がお客さまを全力でサポートする「特色ある個性豊かな会社」を目指し、国内外で損害保険事業を営んでいます。また、テレマティクス自動車保険のパイオニアとして、運転挙動のデータや事故時の映像データ等を活用した安全運転の促進に取り組んでいます。テレマティクス技術で培ったノウハウを将来の自動運転社会を見据えたデータビジネスへ活かす等、安全・安心なモビリティ社会の実現に貢献することを目指しています。

- ・社名 : あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
- ・所在地 : 〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1
- ・設立 : 1918 年 6 月
- ・事業内容 : 損害保険事業
 - ウェブサイト <https://www.aioinissaydowa.co.jp/>
 - タフ・つながるクルマの保険 <https://www.aioinissaydowa.co.jp/personal/product/tough/tsunagaru/>
 - タフ・見守るクルマの保険プラス <https://aioinissaydowa.co.jp/corporate/service/telematics/plus.html>
 - テレマティクス損害サービス https://www.aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/news/pdf/2020/news_2020092500746.pdf
 - l'mZIDAN (24 時間 365 日事故対応サービス) <https://aioinissaydowa.co.jp/corporate/about/24h365d/>
 - リアルタイム被害予測ウェブサイト cmap <https://aioinissaydowa.co.jp/corporate/service/cmap/>

当社は、「特色ある個性豊かな会社の確立」を掲げ、行動指針である「地域密着」を追求するとともに、お客さま・地域・社会とともにリスクを削減し、社会的課題解決に資する商品・サービスをご提供しております。この考え方・コンセプトを「CSV×DX」(シーエスブイ パイ ディーエックス)というキーワードのもと展開し、幅広い商品・サービスで実現していきます。



| 参考：移動で人を幸せに。Mobility Technologies について

Mobility Technologies は「移動で人を幸せに。」をミッションに、日本のモビリティ産業をアップデートする様々なサービスの提供を行っています。

- ・社名 : 株式会社 Mobility Technologies
- ・所在地 : 〒106-6216 東京都港区六本木 3-2-1 住友不動産六本木グランドタワー16 階
- ・設立 : 1977 年 8 月
- ・事業内容 : タクシー事業者等に向けた配車システム提供などモビリティ関連事業

- タクシーアプリ『GO』
 - タクシーアプリ『JapanTaxi』 <https://japantaxi.jp/>
 - 法人向けサービス『GO BUSINESS』 <https://go.mo-t.com/business/>
 - タクシーデリバリー専用アプリ『GO Dine』 <https://go-dine.jp/>
 - 交通事故削減支援サービス『DRIVE CHART』 <https://drive-chart.com/>
 - ドライブレコーダー『JapanTaxi ドライブレコーダー4』 <https://japantaxi.co.jp/services/drive-recorder-4/>
- ・子会社 : 株式会社 IRIS <https://www.tokyo-prime.jp/>
- ・サイト : コーポレートサイト <https://mo-t.com/>
採用サイト <https://mo-t.com/recruit/>

以 上